

新型コロナウイルス感染症は、県内でも私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。会員も、マスク着用、消毒、換気、適正距離を取るなど、基本的な感染対策を行いながら事業や活動を継続していますが、地域生協で宅配の需要が増加する一方、大学生協など経営が圧迫されているところも出ています。

栃木県生協連は、行政、団体の要請を受け、会員に地域社会への貢献を会員に呼びかける等、積極的に取り組んでいます。各会員の活動状況をご紹介します。

会 員	栃木県職員生活協同組合	・「がんばろう栃木！コロナ支えあい基金」協力呼びかけ。
	宇都宮大学消費生活協同組合	・学生はリモート授業のため、食堂利用者が1割程に落ち込み、経営を圧迫している状況。持続化給付金、雇用調整助成金を申請。
	栃木県学校生活協同組合	・栃木県「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄付金」に寄付。
	生活クラブ生活協同組合	・組合員に「新型コロナ感染拡大に伴う生活困窮者への支援カンパ」を呼びかけ、生活困窮者を支援する団体を助成。 ・「フードバンクうつのみや」に米200袋×5kgを無償提供。
	生活協同組合パルシステム茨城 栃木	・栃木県「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄付金」に寄付。 (茨城県内でも学生の生活支援、NPOとの連携等を実施)
	とちぎコープ生活協同組合	・栃木県「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄付金」に寄付。 ・「がんばろう栃木！コロナ支えあい基金」へ寄付。組合員に協力呼びかけ。 ・「シトラスリボンプロジェクト」推進。 ・フードバンク支援。
	よつ葉生活協同組合	・栃木県「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄付金」に寄付。 ・「がんばろう栃木！コロナ支えあい基金」等、栃木県、茨城県、群馬県の募金活動への協力を組合員に呼びかけ。 ・妊産婦、乳幼児、高齢者を中心に組合員に電解次亜塩素酸水を無料配布。 ・フードバンク等7団体に米を計660kgを無償提供。
	栃木保健医療生活協同組合	・感染対策のガイドラインを定め、地域活動を再開。体操インストラクターの派遣、子どもの学習支援、子ども食堂等。電話による声掛け運動も継続。
	こくみん共済coop (栃木県労働者共済生活協同組合)	・栃木県「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄付金」に寄付。
	賛 助 会 員	こらぼワーク (企業組合とちぎ労働福祉事業団)
中央労働金庫栃木県本部		・栃木県勤労者生活支援融資制度(一般勤労者向け)の資金使途に新型コロナウイルス感染症の影響による生活資金を追加し、勤労者の生活を支援。
社会福祉法人ふれあいコープ		・地域支援活動は、子育てサロン、買い物バス、体操教室等、感染対策に配慮しながら再開。体操教室は宇都宮に加え、栃木市でも開催。 ・「がんばろう栃木！コロナ支えあい基金」職員への協力呼びかけ。
栃木県生活協同組合連合会	・栃木県「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄付金」に寄付。 ・「がんばろう栃木！コロナ支えあい基金」に寄付。 ・5/1下野新聞「心をひとつに進もう 今こそ、オールとちぎ!!」に協賛。県民へのメッセージを掲載。	

開催のお知らせ ECO テック&ライフとちぎ2020

日時：12月5日(土)10時~16時 会場：マロニエプラザ

栃木県生協連も
出展します

お知らせ 新型コロナウイルス感染症対策のため、下記の催しは中止となります。

・協同組合交流会 ・2021年新年賀詞交歓会



とちぎの生協

〒321-0968 宇都宮市中今泉2丁目7-19 204号

TEL:028-680-5592 FAX:028-680-5593

http://tochigikenren-coop.com Eメール info@tochigikenren-coop.com

VOL.32 秋号

ごあいさつ 会長理事 竹内明子

ふと気づけば、今年もあと二月あまりとなりました。今年度は本当に慌ただしく日々が過ぎたように思います。

9月29日、厚生労働省から新型コロナウイルス感染拡大による解雇や雇止めが見込みを含めて6万923人へのぼるという発表がありました。

大学生協では全国的に、休校やリモート授業の影響で経営的に厳しい状況が続いています。それによって職員

さんたちの働く場をどのようにするかが大きな課題となっており、地域生協に移籍をする動きも出てきています。生協の中では、困難な時は連帯の中で問題解決をすることが大切であるとされています。

このような困難な時ほど、個別にではなく、地域の中、全体の中で問題を解決することが重要なのではないのでしょうか。生協はネットワークづくりを積極的に進めていきたいと思っております。



行政関連

■第1回栃木県プラスチック資源循環推進協議会が開催されました。(7月31日)

栃木県は、昨年8月に県と県内25市町により、「栃木からの森里川湖^{もりさとかわうみ}プラごみゼロ宣言」を行いました。今年3月には「栃木県プラスチック資源循環推進条例」が制定されています。いずれも全国初です。

今年度、プラスチックごみ削減対策事業を強化する取り組みの中で、市町や事業者、有識者、消費者などで構成される協議会を設置し、対策を進めることとしました。第1回目となる今回は、プラスチックの資源循環を巡る状況の報告および、プラスチック資源循環の推進に関する基本的な指針(骨子)案について等協議しました。

区分	所属等・氏名
学識経験者(会長)	宇都宮大学学術院 教授 山田洋一
製造業等事業者関係団体	(一社)栃木県産業環境管理協会 会長 青木宏仁
	栃木県プラスチック工業振興会 会長 白澤正弘
消費者団体	栃木県生活協同組合連合会 会長理事 竹内明子
処理業者関係団体	(公社)栃木県産業資源循環協会 会長 菊池清二
行政	足利市生活環境部長 加藤大介
	芳賀町住民生活部長 大根田和久
	栃木県環境森林部長 鈴木英樹

■審議会等への参加

- ・うつのみや食育フェア実行委員会(6/5)
- ・栃木県農政審議会(6/22、10/30)
- ・とちぎ食育推進連絡会(7/8)
- ・小山市総合計画策定懇話会(9/4、10/1)
- ・栃木県消費生活安定対策審議会(10/12)
- ・栃木県次期プラン策定懇話会(10/14)
- ・公正取引委員会有識者懇談会(10/26)

お知らせ

適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク 電話相談「消費者契約トラブル110番」を実施します。

日時：11月18日(水)10時~16時 ☎028-678-8000(とちぎ消費者リンク事務局)

※当日は弁護士が電話で対応します。消費者トラブル全般の情報提供を受け付けます。

機関運営・部会活動



機関運営

8月11日第2回理事会、10月13日第3回理事会/9月15日第2回常務理事会 左記を開催しました。

くらし部会

〈参加団体…生活クラブ生協、よつ葉生協、とちぎコープ、パルシステム茨城 栃木（2020年度～参加）〉

■学習会 「フードバンク利用者の状況—フードバンクうつのみや相談記録より見えた社会（暮らし）の現状について—」（9月7日・参加者22名）

講師：独立型社会福祉士事務所とちぎボランティアネットワーク

フードバンクうつのみや理事 小澤勇治氏

フードバンクを必要とする社会背景について学習会を開催しました。

コロナ禍で、フードバンクの需要が大幅に増加する等、格差や貧困等の問題が顕在化しています。小澤氏より伺った「フードバンクうつのみや」での事例は想像を超える深刻さでした。取組み継続のための支援に加え、場の存在すら知らず、支援に手が届かない人も多くいると考えられることから、広報活動の必要性にも気づかされた学習会となりました。



■学習会「種苗法改定問題を考える」（9月14日・参加者41名）

講師：宇都宮大学 農学部 農業経済学科 教授 秋山満氏

先の種子法廃止がそうであったように、種苗法改正問題も命に直結する食の安全を司る重要な法案でありながら、多くの国民の関心が集まらないうちに、審議不十分なまま改正が進められようとしています。私たちひとり一人が学び、賢くなることが必要とされる中、秋山氏より問題の本質を具体的にご教授いただき、ことの重要性を参加者全員で認識することができました。



福祉部会

〈参加団体…こくみん共済 COOP、栃木保健医療生協、社福ふれあいコープ、とちぎコープ、よつ葉生協、生活クラブ生協〉

■学習会「子ども若者・ひきこもり支援の現状と課題」（7月21日）

講師：一般社団法人栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作氏

第1回福祉部会冒頭で、学習会を開催しました。困難を有する子ども・若者に対応した「学ぶ」と「働く」を軸にした場の創設として、中野氏が若年者支援機構を立ち上げるにいたった経緯や、栃木県の子ども若者支援の現状、そして子どもの貧困について、お話いただきました。

防災・被災者支援・平和



■災害ボランティアネットワーク会議参加

（社会福祉法人栃木県社会福祉協議会主催・7月27日）

■CRT 栃木放送 防災特別番組「災害時の情報伝達」に協賛（8月30日）

■2020年第2回オンラインセミナー〈災害支援〉参加（日生協・9月9日）

■MCA 防災無線訓練参加（日生協、栃木県・10月1日）

■日生協大規模災害対策協議会 WEB 会議参加（10月28日）

その他の活動

■「政策懇談会要望書」を自民党県支部連合会宛発信しました。（8月12日）

■第2回中央地連運営委員会、県連活動推進会議参加（WEB 会議・9月23日）

ヒバクシャ国際署名の

集約数のお知らせ

ヒバクシャ国際署名連絡会では、10月の国連総会に署名を提出するため、9月18日までに寄せられた署名を集約しました。署名数 12,612,798人分（昨年9月から2,094,926人分の増加）でした。生協集約分は2,860,899人分、栃木県からは39,488人分でした。

ネットワーク活動



とちぎ食の安全ネットワーク

【構成】宇都宮大学名誉教授、全農栃木、酪農とちぎ、フタバ食品(株)、こいしや食品(株)、(株)荒井食品、(株)東武宇都宮百貨店、地婦連、労福協、JA 栃木中央会、よつ葉生協、とちぎコープ、生活クラブ生協、生協連（事務局兼任）

【オブザーバー】関東農政局、栃木県、宇都宮市、栃木県食品産業協会

■生協役員対象学習会（9月24日・参加者42名）

・講演：「ゲノム編集技術応用食品をめぐる話題」・講師：宇都宮大学 名誉教授 菅原邦生氏

■世話人会（7月2日 第1回、8月6日 第2回）

毎回、世話人の宇都宮大学名誉教授・宇田靖氏を講師に学習会を開催しています

・第1回世話人会学習会「近年の農業に関する動向～その1 新規農業、ポストハーベスト農薬の指定増加～」

・第2回世話人会学習会「最近の農業を巡る動向～その2 生食用ジャガイモの輸入解禁の動きについて」

■食の安全に関するリスクコミュニケーション in 県庁（10月8日 主催：栃木県・とちぎ食の安全 NW、共催：宇都宮市）

テーマ：「日本の食卓を支える輸入食品について知りましょう。そして、考えましょう。」

第1部 講演 ①行政の取組「輸入食品の安全性確保に関する取組」県保健福祉部生活衛生課 食品安全推進班 班長 岡村好則氏

②事業者の取組「輸入原材料と食品安全の取組」フタバ食品(株) 常務取締役 品質管理部 部長 齋藤貞大氏

第2部 パネルディスカッション コーディネーター：自治医科大学公衆衛生学教室教授 中村好一氏

パネリスト：講演者、消費者（栃木県生協連・中田和良専務理事）



とちぎ消費者ネットワーク

【構成】学識者、弁護士会、司法書士会、商工会議所連合会、商工会連合会、自治会連合会、消費生活アドバイザー連絡協議会、NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット、NPO 法人とちぎ消費者リンク、地婦連、JA 栃木中央会、中央労金栃木県本部、とちぎコープ、よつ葉生協、生協連（事務局兼任） 【オブザーバー】栃木県銀行協会

■幹事会（7月14日・第1回、9月14日・第2回）

第2回幹事会では、毎年実施している「栃木県の消費者行政推進室との意見交換会」を開催しました。

室長、副主幹、主事の3名にご参加いただき、以下のご報告を伺い、質疑応答を行いました。

○令和2(2020)年度消費者行政推進室 事務事業の概要 ○令和元(2019)年度消費生活相談状況について

参考…新型コロナウイルス関連の相談（2020年1月～4月 受付分）

■消費者カレッジ

社会に出る前の若者に対する消費者問題の啓発等を目的とした取り組みです。新型コロナウイルス感染症対策のため、リモート講義にも対応しながら、7～10月に8回実施しました。

	テーマ	講師	開催校
第1回	消費者トラブルになってしまったケースを知ろう	八幡山法律事務所 弁護士 服部有氏	自治医科大学医学部
第2回	若者の消費者被害を知ろう	とちぎ消費生活サポートネット 理事長 白土美代子氏	宇都宮共和大学 シティライフ学部
第3回	消費者トラブルになってしまったケースを知ろう	八幡山法律事務所 弁護士 服部有氏	自治医科大学 看護学部
第4回	知って防ごう!! 消費者トラブル～スマホ・インターネットを中心に～	小菅・島蘭法律事務所 弁護士 島蘭佐紀氏	作新学院大学 スポーツマネジメント学科
第5回	知って防ごう!! 消費者トラブル～スマホ・インターネットを中心に～	小菅・島蘭法律事務所 弁護士 島蘭佐紀氏	作新学院大学 経営学科
第6回	知って防ごう!! 消費者トラブル～スマホ・インターネットを中心に～	小菅・島蘭法律事務所 弁護士 島蘭佐紀氏	作新学院大学 経営学科
第7回	ネットトラブルと契約・20歳の契約～誰も教えてくれない、お金の本当の事～	とちぎ消費生活サポートネット 鷲見 恵美子氏	栃木県農業大学校
第8回	消費者問題のイロハを学ぼう～就職する前に知っておいてほしいこと～	とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉崇徳氏	足利大学看護学部